Color MultiWriter 9200C
ネットワーク設定

取扱説明書

Rev.1　2000.7

商標について

MicrosoftとそのロゴおよびWindows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
Netscape NavigatorはNetscape Communications社の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。
Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。
Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 operating systemの略です。
Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく本書および添付ソフトウエアの複製・改変を行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが，万一ご不審な点や誤り，記載もれなどお気づきのことがありましたら，お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 本製品(ソフトウエアを含む)が有する機能の中には使用する環境よってはサポートされない場合があります。
6. 本製品を運用した結果の影響・不利益については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の読み方

本書はプリンターをネットワークプリンターとして正しくご使用になるための手引き書です。

本書は、ネットワークシステム管理者(アドミニストレーター)を対象として書かれています。本書を参照してプリンターをネットワークにインストールする場合は、ネットワーク環境やネットワークOSなどについての予備知識が必要です。
もし、アドミニストレーター以外の方がインストールをするときはご利用になるネットワークのアドミニストレーターと相談の上、インストールを行ってください。

本書の読み方を次に示します。

初めにお読みください

ケーブルを接続する ....プリンターのユーザーズマニュアルを参照下さい。
取り付け後の確認をする....プリンターのユーザーズマニュアルを参照下さい。

読み分けてください

ネットワークプリンターとしての設定は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)によって異なります。本書では、OSごとに分けて設定方法を説明しています。

設定変更時にお読みください

設定変更を簡単に行うためのツールを提供しています。

必要に応じてお読みください

うまく動作しないときは ....「故障かな？と思ったら」
（83ページ）

画面上の文字の表記について

本マニュアルではメニュー、ボタン、ダイアログボックスなど、画面上に表示される文字を原則として角カッコ(［　］)で囲んで示します。アクセスキー(ショートカットキー)やダイアログボックスが表示されることを示す「 ... 」は表記していません。

（例）　［ﾌﾟﾘﾝﾀ番号］ボタン、［ﾈｯﾄﾜｰｸ］ダイアログボックス

本文中の記号について

重要	取り扱いやセットアップを行う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
チェック	正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。

目次

知っておきたいこと

使用上のご注意

ネットワーク管理者(アドミニストレーター)が作業をする

プリンターのネットワークへのインストールは、ネットワーク管理者が行ってください。

ネットワーク設定の初期化

プリンターの設定を工場出荷時の状態に戻します。
初期化方法は、プリンターのユーザーズマニュアルを参照ください。

IPアドレス等すべての設定が工場出荷時の設定状態に戻ります。

すでに使用しているプリンターを初期化する場合はコンフィグレーションページ印刷をしておくことをお勧めします。
なお、一部の設定に関してはコンフィグレーションページに印刷されません。
詳しくはプリンターのユーザーズマニュアル「コンフィグレーションページ印刷」をご覧ください。

動作環境

プリンターは、次のネットワーク環境で動作します。

- Fast Ethernet（100BASE-TX）
- Ethernet（10BASE-T）

対応しているフレームタイプはEthernet IIのみです。

出荷時の設定では自動的に100BASE-TXまたは10BASE-Tの通信速度を検知して動作します。通信速度の設定を固定する場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティまたはWWWブラウザーによる設定（39ページ）を参照し設定を変更してください。

セットアップ　～IPアドレスの設定～

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、プリンターにIPアドレスを設定する必要があります。
ここでは、Windows NTまたはWindows 98/95/2000環境でIPアドレスを設定する方法について説明します。またDHCPを使用する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。
UNIX環境でIPアドレスを設定する方法については「セットアップ　～UNIX編～」を参照してください。

IPアドレスの設定は以下の7つの方法で行うことができます。

プリンターオペレーションパネル
　詳細はプリンターのユーザーズマニュアルを参照ください。

「IP Set」ユーティリティ
　添付のCD-ROMに入っている「IP Set」ユーティリティを使った設定方法です。（4ページ参照）

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
　「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用した設定方法です。（5ページ参照）
　詳しくはCD-ROMに入っている「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」を参照してください。

UNIXコマンド
　コマンドプロンプトよりUNIXコマンドを入力して設定します。（7ページ）

WWWブラウザー
　WWWブラウザーによる設定方法はの「TCP/IP設定」（51ページ）をご覧ください。

Telnet
　Telnetによる設定方法は「IPアドレスの設定」（62ページ）をご覧ください。

DHCPによる設定
　DHCPを使用するとDHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得することができます。工場出荷時の設定では[DHCPを使用しない]になっています。（10ページ参照）

IP Setユーティリティ

添付のCD-ROMにあるユーティリティ「IPSet」を使用しIPアドレスとサブネットマスクを設定します。このユーティリティはWindows NT 4.0またはWindows 98/95/2000で使用できます。

重要

Windows NTでこのファイルを使用する場合は、利用者がAdministratorの権限(アカウント)を持っていなければなりません。

プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないローカルな環境で行ってください。

1 Windows NT(またはWindows 98/95/2000)を起動する。

2 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

3 CD-ROM内の[IP set]フォルダを開き、[IPset.exe]を実行する。

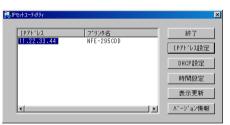
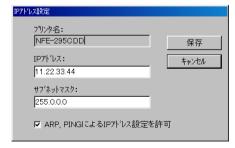
[IP setﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]ウィンドウが表示されます。

4 一覧からプリンターを選択し、[IPアドレス設定]をクリックする。

[IPｱﾄﾞﾚｽ設定]ウィンドウが表示されます。

5 IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

6 IPアドレス自動設定のチェックをはずす。

7 設定内容を保存して、終了する。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」はIPアドレスの設定以外にネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続、監視に必要な各種パラメーターを設定するためのソフトウエアです。

操作方法など詳しくは「PrintAgentプリンター管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

ここではプリンターの登録とIPアドレスの設定について説明します。

1 プリンター管理ユーティリティを起動する。

2 ウィンドウの左側ボックスから[NECプリントサーバ]を選択する。

プリンターがまだ登録されていないときは、メニュー[プリンタ]より[プリンタの追加]をクリックします。

3 ウィンドウの左側ボックスから対象のプリンターを右クリックする。

4 [プロパティ]をクリックする。

5　[TCP/IP]タブをクリックする。

6　[マニュアルで設定する]を選択する。

7　IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

8　[OK]をクリックして終了する。

重要

Windows NT 4.0 およびWindows2000環境で異なるネットワークアドレスに接続されているLANボードのIPアドレスを変更する場合は利用者がアドミニストレーターの権限(アカウント)を持っていなければなりません。

[マニュアルで設定する]を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する]を選んでください。

詳細は、CD-ROM内の「プリンター管理ユーティリティ取扱説明書」を参照ください。

UNIXコマンド

IPアドレスをUNIXコマンドを使って設定する方法を説明します。

重要

ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、プリンターを設定初期化しないと再度同じ方法では設定できません(プリンターの初期化についてはユーザーズマニュアルを参照)。
プリンターを初期化すると、他のプリンター設定もクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください。

プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないローカルな環境で行ってください。

1. プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

2. コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

(実行例)

```
>B:¥users¥default¥route add 11.22.33.44
    123.123.123.123
```

3. pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。

（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:

Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
```

4 arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

以下のような画面が表示されます。

（画面表示例）

```
Interface:  123.123.123.123
  Internet  Address     Physical  Address     Type
  11.22.33.44           00-00-4C-29-00-01     dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の一つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5 IPアドレスをコンピューターへ登録する。
以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンターに設定するIPアドレス＞
          ＜設定するプリンターのMACアドレス＞
```

（実行例）

```
>B:¥users¥default¥arp  -s  123.123.123.1  00-00-4C-29-
          00-01
```

6　pingコマンドを実行する。

```
>ping　＜プリンターに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>B:￥users￥default￥ping 123.123.123.1
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、

```
>arp -d 11.22.33.44
```

を実行後、手順*3*から設定を行ってください。

DHCPによる設定

DHCPを使用するとDHCPサーバー(Windows NT Server, Windows 2000 Server またはUNIX Server)からIPアドレスとサブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のプリンターに対するIPアドレスの設定が不要となります。

工場出荷時の設定では、[DHCPを使用しない]設定になっています。次に説明する方法により設定を変更して使用してください。

プリンターに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ず、DHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください。(11ページの「DHCPサーバーの設定」参照)

DHCPを設定する

プリンタのDHCP設定には以下の3つの方法があります。

PrintAgentプリンター管理ユーティリティ

本CD-ROMに入っている「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用した設定方法です。プリンター管理ユーティリティのプリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[TCP/IP]シートの中でDHCPの設定を[有効](チェックボックスをチェック)にしてください。
詳しくはCD-ROMに入っている「PrintAgentプリンター管理ユーティリティ取扱説明書」を参照してください。

WWWブラウザー

WWWブラウザーによる設定方法は、「TCP/IP」(51ページ)をご覧ください。

Telnet

Telnetによる設定方法は「IPアドレスの設定」(62ページ)をご覧ください。

DHCPサーバーの設定

プリンターのDHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows NT Server, Windows 2000 ServerまたはUNIX Serverが必要です。ここではWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

Windows NT Workstation及びWindows 2000 ProfessionalはDHCPサーバー機能をサポートしてません。

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows NT Serverのヘルプを参照してください。

1. [ネットワーク管理]グループのDHCPマネージャを起動する。

2. メニューバーの[スコープ]メニューより[作成]を選択し、スコープを作成する。

3 ［スコープのプロパティ］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
サブネットマスク（必須）
除外範囲の開始アドレス（必要時）
除外範囲の終了アドレス（必要時）
ソース期間の設定（必要時）

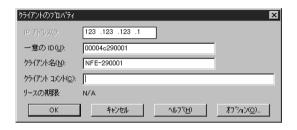
4 ［OK］ボタンをクリックし、［スコープのプロパティ］を閉じる。

5 ［DHCPマネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューより、［予約の追加］を選択する。

［クライアントプロパティ］ダイアログボックスが開きます。

DHCPによるIPアドレス自動取得でプリンタには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、プリンターの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで毎回同じIPアドレスをプリンターに割り当てることができるようになります。

6　以下の情報を入力する。

IPアドレス：	プリンターのIPアドレス（必須）
一意のID：	プリンターのMACアドレス（必須）
クライアント名：	任意の名前（必須）
クライアントコメント：	任意のコメント（必要時）

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内になければいけません。

7　［OK］ボックスをクリックし、［クライアントのプロパティ］を閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

プリンターのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。
プリンターに電源が供給されるとDHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース(貸し出し)を受けます。プリンター用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとプリンターは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下の処置のいずれかを行ってください。

- DHCP設定を1度無効にする。
- プリンタを初期化する(ユーザーズマニュアル参照)。

DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合はルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

プリンターのDHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合、プリンターは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

一度DHCP機能を[有効]にしたプリンターの設定を[無効]にする場合、以下の操作が必要となります。

プリンターを初期化する(ユーザーズマニュアル参照)。
IPアドレスを設定変更する(3ページを参照)。

セットアップ　～Windows NT 4.0編～

この章では、Windows NT 4.0環境に合わせてプリンターを設定する方法について説明します。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

本プリンターは日本語版のWindows NT 4.0のネットワーク環境に対応しています。Windows NT 環境におけるネットワーク印刷には、２つの方法があります。

NEC TCP/IP Port を使用した印刷

NEC TCP/IP Portは、PrintAgentを使用するときの印刷先ポートです。
PrintAgentを使用しない場合でも、NEC TCP/IP Portからの印刷は可能です。
※NEC TCP/IP Portのインストールには、ユーザーズマニュアルの「CD-ROMからのインストール」のところで、「NEC TCP/IP Port」を選択してください。

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷

本プリンターのLANボードは、lpr印刷もサポートしております。

PrintAgent対応プリンターでの印刷

PrintAgentを使用しネットワークプリンターとして利用する前に、Windows NTにTCP/IPプロトコルがインストールされており設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NTのヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。

プリンタのIPアドレス設定については「セットアップ　～IPアドレスの設定～」(3ページ)を参照して下さい。

PrintAgentによる印刷設定の詳細はユーザーズマニュアルを参照してください。

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用する

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷を行うための方法を次に示します。

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NTにlpr(OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス)をインストールする必要があります。

Windows NT 4.0へのセットアップ

まず使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。
インストールされている方はプリンターの「lpr互換プリンターのインストール」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされており設定が完了している必要があります。
TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NTのヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。

1 コントロールパネルの[ﾈｯﾄﾜｰｸ]ダイアログボックスを開く。

2 サービスを選択し、[追加]ボタンをクリックする。

3　［ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ］の一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］をクリックし、［OK］ボタンをクリックする。

4　画面に表示される指示に従って、インストールを完了する。

lpr互換プリンターのインストール

lpr互換プリンターのインストールについては、Windows NTのヘルプ「LPR 互換プリンターをインストールするには」も併せて参照してください。

1　［ﾌﾟﾘﾝﾀ］ダイアログボックスを開く。

2　［ﾌﾟﾘﾝﾀの追加］をクリックする。

3　［このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］をクリックし、［次へ］をクリックする。

4　［ﾎﾟｰﾄの追加］をクリックする。

5 ［LPR Port］をクリックし、［新しいﾎﾟｰﾄ］をクリックする。

［LPR Port］が表示されない場合は、［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスをインストールしてください。

6 ［lpdを提供しているｻｰﾊﾞの名前またはｱﾄﾞﾚｽ］ボックスに、追加するプリンターのホストのDNSネームまたは IPアドレスを入力する。

7 画面に表示される指示に従って、LPR互換プリンターのインストールを完了する。

セットアップ　～Windows 2000編～

この章では、Windows 2000環境に合わせてプリンターを設定する方法について説明します。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

本プリンターは日本語版のWindows 2000 のネットワーク環境に対応しています。Windows 2000 環境におけるネットワーク印刷には、２つの方法があります。

NEC TCP/IP Port を使用した印刷

NEC TCP/IP Portは、PrintAgentを使用するときの印刷先ポートです。
PrintAgentを使用しない場合でも、NEC TCP/IP Portからの印刷は可能です。
※NEC TCP/IP Portのインストールには、ユーザーズマニュアルの「CD-ROMからのインストール」のところで、「NEC TCP/IP Port」を選択してください。

Standard TCP/IP Port を使用した印刷

本プリンターのネットワークポートは、Windows 2000にて標準サポートされているStandard TCP/IP Port印刷もサポートしております。

Windows 2000 環境でのプリンターセットアップ

以下の手順にしたがって、Windows 2000環境にLANボード接続のNECネットワークプリンターをセットアップします。

1　メインメニューの設定またはエクスプローラから「プリンタ」ダイアログボックスを開く。

2　「プリンターの追加」をクリックする。

3　右のウィザードが起動するので「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックする。

4　新しいプリンタの検出画面では「次へ」をクリックする。
ネットワーク接続プリンターですので、プラグアンドプレイによるプリンター検索はできません。

5　「新しいポートの作成」をクリックし「Standard TCP/IP Port」を選び「次へ」をクリックする。

６　「プリンタ名またはIPアドレス」ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力する。

ＤＮＳサーバが存在し、プリンターが登録されている場合には、ＤＮＳ名を指定することもできます。

以下、ネットワーク上にＮＥＣネットワークプリンターがある場合と無い場合で動作が異なりますので、分けて 説明します。

7　デバイスの種類「標準」をクリックし、「NEC Network Printer」を選び「次へ」をクリックする。

8　画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了する。

プリンタのドライバ選択画面では、対応するプリンターを選択してドライバのイ ンストールを完了してください。

ネットワーク上にNECネットワークプリンターが存在する場合

７　NECネットワークプリンターを検出され、自動的に設定が完了する。 内容を確認し、「完了」をクリックする。

８　プリンタードライバ設定のためのウィザードが起動するので「製造元」と「プリンター」を選ぶ。

以下、画面の指示にしたがいインストールを完了する。

LPRプロトコルへ変更する

Standard TCP/IP PortのRawプロトコルで設定されたポートをLPRプロトコルへ変更する方法を次に示します。

9　「プリンタ」のダイアログボックス内に作成されたプリンターのプロパティシートを開き、ポートタブを開く。

10　「ポートの構成」ボタンをクリックする。

11　「プロトコル」を「LPR」、「LPR設定」の「キュー名」に "lp "を入力、「LPRバイトカウントを有効にする」をチェック、「SNMPステータスを有効にする」のチェックがはずされていることを確認して「OK」をクリックする。

セットアップ　～Windows 98/95編～

Windows 98/95からネットワークを介し、直接プリンターへ印刷を行う場合、NEC TCP/IP Portをインストールする必要があります。

※インストール方法は、プリンターユーザーズマニュアルの「２章　プリンターソフトウェアのインストール」の「CD-ROMからのインストール」を参照し、プリンターの接続先にて、「NEC TCP/IP Port」を選択し、インストールを行って下さい。

（NEC TCP/IP Portを使用する際は、ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧下さい。）

プリンターポートの追加方法

IPアドレス登録画面でプリンターポートを作成しなかった場合、または追加でプリンターポートを作成する場合の方法を示します。

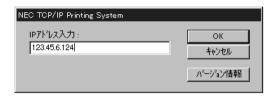
この操作は、プリンターのプロパティ画面で行います。

1. プリンターのプロパティ画面を開く。

2. [詳細]タブをクリックする。

3. [詳細]画面中の[ポートの追加]ボタンをクリックする。

4. [ポートの追加]画面で下のように[その他] - [NEC TCP/IP Printing System]を選択し[OK]をクリックする。

5　ネットワーク対応プリンターに割り付けたIPアドレスまたはドメイン・ネームを入力する。

ネットワーク対応プリンターへのIPアドレスまたはドメイン・ネームの設定が行われていない場合は、[IPアドレスの設定]を参照してください。
[OK]をクリックすると新しいポートが作成されます。

以上で設定は完了です。

プロパティの[情報]画面で[印字テスト]をクリックし、設定が正しく行われたことを確認してください。

ドメイン・ネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代りにドメイン・ネームを使用することができます。

ドメイン・ネームの対応は、NEC TCP/IP Printing Systemのバージョン4以降です。それ以前のバージョンをご使用の場合は、プリンターユーザーズマニュアルの「プリンターソフトウェアのインストール」を参照し、プリンターの接続にて、「NEC TCP/IP Port」を選択し、最新のソフトウエアにアップデートしてください。

ドメイン・ネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメイン・ネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing SystemをインストールしたクライアントPCの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメイン・ネームの入力

ドメイン・ネームは階層構造により“．”（ドット）で区切られた名前を指します。
たとえば“ sample.nec.co.jp ”と呼ばれるドメインの“ printer1 ”と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメイン・ネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントPCが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

ドメイン・ネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントPCの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

セットアップ　～UNIX編～

この章では、UNIX環境へプリンターを設定する方法について説明します。

IPアドレスの設定

IPアドレスは、UNIXマシンから「ping」コマンドを使って接続し設定する方法と、Telnetを使って設定する方法があります。
TelnetによるIPアドレスの設定は「セットアップ　～Telnet編～」の「IPアドレスの設定」(62ページ)を参照してください。

ここでは「ping」コマンドを使った設定方法を示します。
あらかじめホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、プリンターを初期化しないと再度同じ方法では設定できません(プリンターの初期化についてはプリンターユーザーズマニュアルを参照)。

プリンターを初期化すると、他のOSの設定もクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください。

プリンターにIPアドレスを設定する場合は、プリンターにIPアドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーター等を介さないローカルな環境で行ってください。

以下の手順に従ってIPアドレスを変更してください。

1 エディタを使用して、ホストコンピューターの/etc/hostsファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

“ ddd.ddd.ddd.ddd ”はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

（UNIXの/etc/hostsファイルの表示例）

```
      :                 :                  :
192.9.200.20        PR9200C       #MultiWriter9200C
      :                 :                  :
      :                 :                  :
```

“ 192.9.200.20 ”はプリンターのIPアドレスです。
“ PR9200C ”はプリンターのホスト名です。
“ #MultiWriter9200C ”はコメント文です。

2 ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリを追加する。

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順*1*で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

（実行例）

```
arp -s PR9200C 00:00:4C:29:00:01
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

3 新しいIPアドレスを使用してpingコマンドを実行する。

```
ping PR9200C
```

これで、新しいIPアドレスに 変更されました。

4 コンフィグレーションページを出力してIPアドレスが変更されたことを確認する。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」、「ftpコマンド」のいずれを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルへの登録は最低限必要です。

IPアドレスを登録すると、ftpコマンドが使用可能になります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルタを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルタ名	機　　能	
lpb	フィルタ無し：	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
lpaf	lpa+FF：	LFをCR+LFに変換しファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
euc	EUC→JIS：	EUCコードをプリンタJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンタJISコード変換に加えてLFコード(0A)変換とFFコード(0C)付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS：	Shift-JISコードをプリンタJISコードに変換します。
SJIS	Shift-JIS→JIS： LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンタJISコード変換に加えてLFコード(0A)変換とFFコード(0C)付加を行います。

その他未登録のフィルタ名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0¦no convert:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:\
  :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1¦ascii file:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:\
  :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2¦binary with FF:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:\
  :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3¦ascii with FF:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:\
  :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、「ftpコマンドによる転送」と「lprコマンドによる転送」の2つの方法があります。

ftpコマンドによる転送

ftp(file transfer protocol)コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。デフォルトはこのモードです。
put (send)	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとしで“ FEED ”あるいは“ feed ”と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp PR9200C ↵ ---------- （ftpコマンドを起動します。）
Connected to PR9200C
220 ready
Name(PR9200C:) ↵ ------------- （リターンキーを押します。）
230 User logged in proceed
ftp>binary ↵ --------------------- （ファイルの形式を指定します。）
200 Command okay
ftp>put data.plt ↵ ---------- （data.pltファイルを転送します。）
200 Command okay
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit ↵ ----------------------- （ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくはそれぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能(lprコマンド)を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。

フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」(34ページ)を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、ファイルを転送します。

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

「pt0」は35ページで設定したプリンター名

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

セットアップ　～WWWブラウザー編～

この章では、プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザーで実行する方法について説明します。
WWWブラウザーでは以下の情報を設定または参照することができます。

LANボードの管理者設定画面では、フレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Microsoft　Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降等のフレーム対応ブラウザをご使用ください。

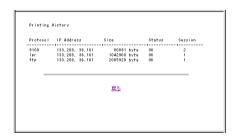
次にそれぞれの画面表示を説明します。

画面の構成

起動画面　42ページ

ステータス画面　44ページ

情報画面　45ページ

印刷履歴画面　46ページ

設定情報画面　47ページ

```
NEC Network Interface Configuration Page

    <Network Information>

        F/W Version              :    01.01 00022.000621170 4
        ID Number                :    NFE-2900D5
        Printer Name             :    NFE-2900D5
        MAC Address              :    00:00:4C:29:00:D5
        H/W Description          :    NEC NetworkPrinter7000C0
        10Base/100Base           :    "Auto (10Base)"
        Half/Full Duplex         :    "Auto (Half Duplex)"
        Printing Log             :    "Off"

    <Self-Diagnosis>

        Link Test                :    "OK"
        Network Status           :    "OK"

    <TCP/IP>

        IP Address               :    133.208. 36.206
        Subnet Mask              :    255.255.255.128
        Gateway Address          :    133.208. 36.254
        Auto IP Address          :    "On"
        Max. Number of Session   :    64
        Session Timeout [sec]    :    120
        Keep Alive               :    "On"
        FTP Timeout [min]        :    10
        DHCP                     :    "On"
        e-Mail Service           :    "Off"
        Current Active Session   :    1
```

戻る

管理者設定画面　48ページ

画面表示は一部製品と異なる場合があります。

WWWブラウザー起動画面

プリンターに登録されたIPアドレスをWWWブラウザーのURL入力欄に入力することで、プリンターのページを開くことができます。

```
http://ddd.ddd.ddd.ddd/
```

“ ddd.ddd.ddd.ddd ”はプリンターのIPアドレスです。

（実行例）

```
http://11.22.33.44/
```

重要

工場出荷状態、または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

ホストコンピューターのルーティングテーブルのルートパスを一時的に設定する必要があります。

接続時は、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

プリンターとホストコンピューターがルーター等を介さないローカルな環境で行ってください。

また、WWWブラウザーでプリンタ状態の監視、および設定値の変更を行う場合は、必ず次の起動ページから実行してください。

ホストコンピューターの設定については、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。
接続に成功すると次の画面が開きます。

接続後の画面は３つのフレームで構成されています。

上段　：　メニューのリンクを表示します。
中段　：　上段画面で選択されたメニューを表示します。
下段　：　NECロゴを表示します。

上段でメニューを選択する前は、中段にはプリンターの基本情報が表示されます。

プリンターのステータス　（44ページ）
プリンターのステータス画面を別画面（新規ブラウザー画面）で開きます。本画面は、15秒周期でプリンター状態を監視し、自動的に更新されます。

プリンターの情報　（45ページ）
プリンターの情報画面を開きます。プリンターの状態と、給紙口の情報を参照できます。

印刷履歴　（46ページ）
プリンターのネットワーク印刷の履歴を表示します。

LANボードの設定情報　（47ページ）
プリンターのネットワーク設定の情報を一覧で表示します。

LANボードの管理者設定画面　（48ページ）
管理者設定画面を開きます。設定変更を行うためには、管理者のパスワードが必要です。

プリンターのステータス画面

プリンターのステータス画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別ウィンドウで表示されます。

← LANボードが接続されたプリンターのモデル名を示します

Printer Name
登録されたプリンター名称を示します。
この名称は、管理者設定画面で設定することができます。

F/W Version
ネットワーク機能のバージョンを表示します。

プリンターの状態
プリンターの現在の状態を表示します。状態は15秒毎に自動更新されます。
この周期を変更することはできません。

プリンターの情報画面

プリンターの情報画面では、プリンターの状態、おもに給紙口の構成情報が表示されます。この画面はフレーム中段に表示されます。

← LANボードが接続されたプリンターのモデル名を示します

プリンター言語一覧
本プリンターがサポートしているプリンター言語の一覧。

プリンター状態
プリンターがオンラインか、オフライン状態かを表示します。

プリンター構成
プリンターの給紙口の構成を表示します。

両面印刷
　　両面印刷が可能か、不可能かを表示します。

給紙口情報
　　接続されている給紙ユニット情報、用紙サイズおよび用紙有無を表示します。

印刷履歴

印刷履歴画面では、ネットワーク印刷の履歴が表示されます。
この画面は、フレームの中段に表示されます。

Printing History

Protocol	IP Address	Size	Status	Session
9100	133.208. 36.161	80091 byte	OK	2
lpr	133.208. 36.161	1042960 byte	OK	1
ftp	133.208. 36.161	2085920 byte	OK	1

戻る

Protocol　　: 印刷アプリケーションプロトコルを示します。
IP Address　: 印刷したホストコンピューターのIPアドレスを示します。
Size　　　　: 印刷したデータバイト数を示します。
Status　　　: TCP/IP接続状態を示します。
Session　　 : 印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷設定では「記録しない」設定になっています。

印刷履歴を記録するための設定変更は、LANボード管理者設定画面の「印刷ログ設定」で行います。

LANボードの設定情報

LANボードの設定情報画面では、現在のネットワーク状態が一覧で表示されます。　この画面は、フレームの中段に表示されます。

```
NEC Network Interface Configuration Page

    <Network Information>

        F/W Version                  :    01.01 00022.0006211704
        ID Number                    :    NFE-2900D5
        Printer Name                 :    NFE-2900D5
        MAC Address                  :    00:00:4C:29:00:D5
        H/W Description              :    NEC NetworkPrinter7000C0
        10Base/100Base               :    "Auto (10Base)"
        Half/Full Duplex             :    "Auto (Half Duplex)"
        Printing Log                 :    "Off"

    <Self-Diagnosis>

        Link Test                    :    "OK"
        Network Status               :    "OK"

    <TCP/IP>

        IP Address                   :    133.208. 36.206
        Subnet Mask                  :    255.255.255.128
        Gateway Address              :    133.208. 36.254
        Auto IP Address              :    "On"
        Max. Number of Session       :    64
        Session Timeout [sec]        :    120
        Keep Alive                   :    "On"
        FTP Timeout [min]            :    10
        DHCP                         :    "On"
        e-Mail Service               :    "Off"
        Current Active Session       :    1
```

戻る

LANボードの管理者設定

LANボードの管理者設定画面では、ネットワークの設定値の確認および設定変更ができます。
この画面は、フレームの中段に表示されます。

LAN
TCP/IP
SNMP
SMTP
Password

LANボード基本設定画面

プリンタ名
NFE-2900D5

デュプレックスモード
Full Duplex　Half Duplex

通信速度
自動選択　10BASE-T　100BASE-TX

印刷ログ設定
記録する(自動排出)　記録する(上書き)　記録しない

Password
****

設定

戻る

LANボードの設定を変更する場合、管理者パスワードの入力が必要です。
出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

設定項目は大きく次の5つに分かれています。

LAN
LANボード固有の基本設定を行います。

TCP/IP
IPアドレス等、ネットワーク接続に必要な設定を行います。

SNMP
SNMP管理プロトコルを使用する場合に必要な設定を行います。

SMTP
プリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールで通知する機能を使用する場合に必要な設定を行います。

Password
管理者用のパスワードを変更します。

LAN

プリンタ名

LANボード固有の名前を登録することができます。
登録可能な文字列は半角大文字の英字、および数字"-"、"＿"です。
小文字で入力された場合、大文字に変換登録されます。

デュプレックスモード

スイッチングハブ接続時のパケット送受信設定を行います。

Full Duplex（全二重通信）
パケットの送受信を同時に行うことができます。
Half Duplex（半二重通信）
パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

通信速度設定が「自動選択」になっている場合は、デュプレックスモードの設定は無効になります。

通信速度

通信速度の設定を行います。

自動選択
10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し決定します。
10BASE-T
10BASE-T固定の接続設定になります。
100BASE-TX
100BASE-TX固定の接続設定になります。

10BASE-T、または100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

印刷ログ設定

ネットワーク印刷の履歴を記録するための設定を行います。

記録する（自動排出）

ネットワーク印刷の履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。

最大登録ジョブ数　：50

記録する（上書き）

ネットワーク印刷の履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、履歴中もっとも古いジョブ情報を削除します。

記録しない

ネットワーク印刷の履歴を記録しません。

ネットワーク印刷履歴は、プリンタ電源OFF、および設定初期化でクリアされます。
また、設定を「記録する」から「記録しない」に変更した場合、記録されている履歴情報を印刷出力します。

Password

ページを開いたときは、本BOXには「NECPRADMIN」が予め入力されています。
パスワードが「NECPRADMIN」以外の値に設定されている場合は、正しいパスワード値を入力する必要があります。

設定ボタン

設定値を変更する場合、パスワード入力後、本ボタンを押してください。

TCP/IP

DHCP

LANボードのIPアドレスをDHCPサーバから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。DHCPの詳細については「DHCPによる設定」(10ページ)を参照してください。

IPアドレス

LANボードのIPアドレスを設定します。

IPアドレスを変更すると、それ以降はWWWブラウザーの通信が不可能となります。一度WWWブラウザーを閉じて、正しいIPアドレスをURLに指定してください。

サブネットマスク

LANボードのサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイのアドレスを設定します。

FTPタイムアウト

FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲　：5〜60(分)
初期値　：10(分)

最大セッション数

TCP/IPの最大接続数を設定します。
この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

設定範囲　：1～64
初期値　：64

最大セッション数の設定値が小さい(例えば１)場合、WWWブラウザーで画面表示ができない場合があります。

通信タイムアウト

TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲　：30～7200(秒)
初期値　：120(秒)

AutoIP設定(PING)

PINGによるIPアドレス変更許可の設定を行います。
「設定する」の場合、PINGによるIPアドレス変更が有効となります。

PINGによるIPアドレスの変更は、LANボードのIPアドレスが11.22.33.44(工場出荷値)の場合のみ許可されます。

KeepAlive

通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するかしないかを設定します。
本設定が「使用する」の場合、KeepAliveパケットが発行されます。
KeepAliveパケット送信時にホストコンピュータから応答がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。

Password

ページを開いたときは、本BOXには「NECPRADMIN」が予め入力されています。
パスワードを「NECPRADMIN」以外の値に設定されている場合は、正しいパスワード値を入力する必要があります。

設定ボタン

設定値を変更する場合、パスワード入力後、本ボタンを押してください。

SNMP

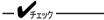
認証されたコミュニティ名

Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名には、異なる名称を最大4つまで登録できます。
　有効文字：　半角英数字、および“ - ”、“ __ ”

Trapの設定

Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
［使用する］選択時に有効となります。

IPアドレス
Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。

コミュニティ名
ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。
有効文字は「認証されたコミュニティ名」と同じです。

Trap送信先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがプリンターのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の「ゲートウェイアドレス」欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP

プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。
［する］選択時に有効になります。

メールサーバーのIPアドレス

メールサーバーのIPアドレスを設定します。

メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがプリンターのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の「ゲートウェイアドレス」欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

To:のメールアドレス
電子メール送信先のメールアドレスを設定します。
Cc:のメールアドレス
電子メール送信先の写しが必要な場合に、メールアドレスを設定します。
From:送信元アドレス
電子メール送信元のメールアドレスを設定します。
初期値として、“ PRN@domain-name ”が設定されています。必要に応じ、送信元アドレスの変更を行ってください。

From：送信元アドレスを変更する場合、「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
@の前に文字がない場合は、エラーとなります。

メール本文（80文字×3行）
電子メールの本文に記載するコメントを半角文字で入力します。
3行まで入力できます。各行ともに最大81文字以上入力された場合は80文字までで行がカットされます。

本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～007Ehの範囲に限ります。
ただし以下の文字コードは使用することができません。

；（003Bh）

Password

管理者の設定変更用パスワードを変更します。

画面の指示に従って、以下の3つのパスワードを全て入力してください。

現在のパスワード
新しいパスワード
新しいパスワードの再入力

プリンター出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

パスワードとして設定可能な文字は半角英数、および“ - ”、“ _ ”です。

大文字と小文字は区別されます。

WWWブラウザーからのパスワード変更により、Telnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。
Telnetによるパスワード設定に関しては「セットアップ　～Telenet編～」を参照してください。

新しいパスワードは次回のログイン時から有効になります。

パスワードを忘れた場合は、ネットワーク設定の初期化を行ってください。その場合、他の設定値も工場設定値に初期化されるので、再設定が必要です。

ネットワーク設定の初期化については、「プリンターのユーザーズマニュアル」を参照してください。

セットアップ　～Telnet 編～

この章では、ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。
Telnetで接続(ログイン)すると以下の情報を設定または参照することができます。

Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。

パスワードの設定に関しては「パスワードの変更」(71ページ)を参照してください。

Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

設定を変更する

1 ログインを希望するプリンターのIPアドレスを指定する。

```
Telnet ddd.ddd.ddd.ddd ⏎
```

“ ddd.ddd.ddd.ddd ”はプリンターのIPアドレスです。

（実行例）

```
Telnet 11.22.33.44 ⏎
```

プリンターのIPアドレスがホストコンピューターと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピューターのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。
設定に関しては、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

2 パスワードを入力する。

```
Connected to:11.22.33.44
Password:
```

パスワードに関しては「パスワードの変更」(81ページ)を参照してください。

パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。

LANボード出荷時のパスワードはNECPRADMINです。

セットアップのメインメニューが表示されます。

```
Main Menu
---------
1. IP Address
2. Subnet Mask
3. Gateway Address
---------
4. SNMP setting
---------
5. Password
6. Management
---------
S. Save (Disconnect and Save parameters)
Q. Quit
Type Any No.>
```

3 各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を［Type Any No.>］の後に入力する。

すべての内容の変更または、内容の確認が終わりましたら、Telnetをログアウトします。

4 ［Type Any No.>］の後に「S」か「Q」を入力し、ログアウトする。

「S」入力：　設定変更した内容をLANボードに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力：　設定変更した内容をLANボードに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合Telnetログイン前の設定が保持されます。

印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。

設定変更時はLANボードのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

IPアドレスの設定

LANボードのIPアドレスを設定します。

1 メインメニューで[1]、[Enter]キーを押す。

```
Current IP Address: 11.22.33.44
DHCP:OFF
1. Change IP Address
2. DHCPOn/Off
3. Exit
Type Any No.>
```

2 次にDHCP設定を変更する場合は、[2]を、直接IPアドレスを設定変更する場合は[1] を選択し[Enter]を押す。

DHCPの詳細については「DHCPによる設定」(20ページ)を参照してください。

3 設定内容を保存してログアウトする。

サブネットマスクの設定

LANボードのサブネットマスクを設定します。

1 メインメニューで[2]、[Enter]を押す。

```
Current Subnet Mask: 255.0.0.0
1. Change
2. Exit
Type Any No.>
```

2 [1]、[Enter]を押して変更するサブネットマスクを入力する。

3 設定内容を保存してログアウトする。

ゲートウェイアドレスの設定

ゲートウェイアドレスを設定します。

1 メインメニューで[3]、[Enter]を押す。

```
Current Gateway Address: 0.0.0.0
1. Change
2. Exit
Type Any No.>
```

2 [1]、[Enter]を押して変更するゲートウェイアドレスを入力する。

3 設定内容を保存してログアウトする。

ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能および電子メール配信機能を使用する場合に必要です。
使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

SNMPの設定

SNMPの通信に必要なSNMP Trapやコミュニティ名を設定します。

SNMP Trapの設定
SNMP Trapマネージャの登録を最大4つまで行えます。

コミュニティ名の設定
GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大4つまで異なる名称を登録できます。

1 メインメニューで[4]、[Enter]を押す。

```
SNMP Setting
1． 1st SNMP Trap Manager
2． 2nd SNMP Trap Manager
3． 3rd SNMP Trap Manager
4． 4th SNMP Trap Manager
5． Authentic Community
6． Exit
Type Any No.>
```

2 SNMP Trap設定の場合は、[1〜4 SNMP Trap Manager]を、コミュニティ名の場合は[5. Autherntic Community]を選択し設定する。

それぞれ以下のページを参照してください。

SNMP Trapの設定の方法　→66ページ
コミュニティ名の設定　→67ページ

3 設定内容を保存してログアウトする。

SNMP Trapの設定

（例） ［1. 1st SNMP Trap Manager］を選択した場合

```
1st SNMP Trap Manager
Trap                          :  Off
Currenet IP Address           :  0.0.0.0
Current Community Name        :  public
1. Trap On/Off
2. Change IP Address
3. Change Community Name
4. Exit
Type Any No.>
```

上段に現在の設定が表示されます。

1 SNMP Trapを使用する場合、［1. Trap On/Off］の設定を［On］にする。

2 Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。

［2. Change IP Address］を選択して、IPアドレスを入力してください。

3 Trap送信のコミュニティ名を設定する。

［3. Change Community Name］を選択して、コミュニティ名を入力してください。

チェック

Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。

「ゲートウェイアドレスの設定」(64ページ)を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

（例）［5. Authentic Community］選択した場合

```
Authentic Community
1.  Authentic Community1: public
2.  Authentic Community2: public
3.  Authentic Community3: public
4.  Authentic Community4: public
5.  Exit
Type Any No.>
```

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。
変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

LANボード管理情報の確認

Telnetにより、LANボードが管理する次の情報を参照することができます。

LANボード設定情報一覧
LANボード背面のコンフィグレーションページ印刷ボタンを押すことによって得られる情報を画面上で参照することができます。

印刷履歴の確認
LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時設定は「記録しない」です。

印刷履歴の設定変更はWWWブラウザーまたは付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティから行います。詳細は各設定の説明を参照してください。

メインメニューで[6]、[Enter]を押すと以下の画面が現れます。

```
ManagementMenu
1. Display Configuration Data
2. Display Printing Log Data
3. Change Display Line Number
4. Exit
Type Any No.>
```

それぞれ、次のページを参照してください。

1　LANボード設定情報一覧を参照する場合　→69ページ
2　印刷履歴を参照する場合　→69ページ
3　Telnet画面表示ライン数を変更する場合　→70ページ

LANボード設定情報一覧

[1. Display Configuration Data]選択により、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。
表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」(10ページ)を参照してください。

印刷履歴の確認

[2. Display Printing Log Data]選択により、LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、または印刷履歴の記録設定がされていない場合

```
There is no log data.
```

印刷履歴が存在する場合

```
Printing History

Protocol   IPAddress     Size         Status    Session
-----------+------------+-------------+---------+--------
lpr        123.45.67.1      12byte    OK        1
ftp        123.45.67.2     123byte    Timeout   1
9100       123.45.67.3    1234byte    OK        1
lpr        123.45.67.4   12345byte    Error     1
```

Protocol	：印刷アプリケーションプロトコルを示します。
IP Address	：受信したホストコンピューターのIPアドレスを示します。
Size	：LANボードがプリンターに転送したデータサイズです。
Status	：TCP/IP接続状態を示します。
Session	：印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

印刷履歴はLANボードの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ内部に保持されません。

IPアドレス等の設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

LANボード設定情報一覧および印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。
画面表示ライン数変更時は[3. Change Display Line Number]を選択します。
工場出荷時の表示ライン数は[20]です。
画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

パスワードの変更

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。
プリンター出荷時のパスワードはNECPRADMINです。

チェック

パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字および“ - ”(ハイフン)、“ _ ”(アンダーバー)です。

英語の大文字と小文字は区別されます。

Telnetのパスワードを変更すると、WWWブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWWブラウザーからの設定に関しては、「セットアップ　～WWWブラウザー編～」(39ページ)を参照してください。

---

1. メインメニューで[5]、[Enter]を押す。

2. パスワードを入力する。
   パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従い、新しいパスワードを入力してください。

チェック

新しいパスワードは次回のログイン時から有効になります。

パスワードを忘れた場合は、プリンターを初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。

プリンターの初期化に関しては「プリンターのユーザーズマニュアル」を参照してください。

電子メール送信

この章では、電子メール配信機能ついて説明します。
電子メール送信機能は、プリンターのトナー残量が少なくなった場合に指定された送信先に電子メールを送信する機能です。

電子メール送信設定

電子メールの送信機能を有効にするためにはプリンターに以下の設定が必要です。

電子メール送信の使用設定
メールサーバーのIPアドレス
送信先アドレス(To:またはCc:のいずれか)

設定は以下の方法で行います。

WWWブラウザー
電子メール送信設定(55ページ)
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
添付のCD-ROMに入っている「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用します。詳しくはCD-ROMに入っているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書をご覧ください。

電子メールの送信

プリンターのトナー残量が少なくなったことを確認すると設定された送信先メールアドレスに向けて電子メールを送信します。

メールのSubjectは以下で固定です。

Subject: [NECNIC report] Printer low-toner

プリンターのトナー残量が少なくなったことを確認すると電子メールが1回送信されます。電子メール送信情報はトナーの補給またはカートリッジの交換が行われるまでプリンターに保持されるので、重複して電子メールが送信されることはありません。

トナーの残量が少なくなった初期の状態においてプリンター側のセンサーの状況により数回電子メールが送信される可能性があります。

電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの保管が行われる前に送信先メールアドレス等のパラメーターが変更されると、再度電子メールが送信されます。

SNMP

この章ではSNMPによるプリンターの管理について説明します。

Get Request、Set Requestによる管理

SNMPのGet Requestコマンド、Set Requestコマンドによりプリンターの情報を参照または設定変更することができます。
通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更は以下の手段により行うことができます。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
　Windows 98/95/2000、Windows NT OS用のユーティリティソフトウェアから設定変更できます。
　設定に関する詳細は別冊の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」を参照してください。

WWWブラウザー
　WWWブラウザーにより設定変更できます。
　設定に関する詳細は「SNMP設定」(54ページ)を参照してください。

Telnet
　Telnetにより設定変更できます。
　設定に関する詳細は「SNMPの設定」(65ページ)を参照してください。

工場出荷時のコミュニティ名にはすべて“ public ”が登録されています。
必要に応じて設定変更を行ってください。

プリンターはMIB-II(RFC1213)、ホストリソースMIB(RFC1514)およびプリンターMIB(RFC1759)に対応しています。サポートしているMIBオブジェクトの一覧は次の通りです。

SNMP MIB-II(RFC1213) オブジェクト一覧

[system] グループ

sysDescr
sysObjectID
sysUpTime
sysContact
sysName
sysLocation
sysServices

[interface] グループ

ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

[ip] グループ

ipForwarding
ipDefaultTTL
ipInReceives
ipInHdrErrors
ipForwDatagrams
ipInDiscards
ipInDelivers
ipOutRequests
ipOutDiscards
ipReasmTimeout
ipReasmReqds
ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

[icmp] グループ

icmpInMsgs
icmpInErrors
icmpInDestUnreachs
icmpInTimeExcds
icmpInParmProbs
icmpInSrcQuenchs
icmpInRedirects
icmpInEchos
icmpInEchoReps
icmpInTimestamps
icmpInTimestampReps
icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

[tcp] グループ

tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ

snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMP ホストリソースMIB(RFC1514) オブジェクト一覧

[Device] グループ

hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンターMIB(RFC1759) オブジェクト

[prt] グループ

prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtStorageRefSeqNumber
prtStorageRefIndex
prtCoverIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet
prtInputType
prtInputDimUnit
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName
prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity
prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus
prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity
prtOutputDimUnit
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir
prtMarkerNorthMargin
prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus
prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel
prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality
prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathStatus
prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus
prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut

prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDir
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir
prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking
prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtInterpreterTwoWay
prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription
prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。

Trap送信に必要なホストコンピューターの各種設定を4台まで登録できます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

Trap使用の要否設定
送信先ホストコンピューターのIPアドレス
Trap通信のコミュニティ名
ゲートウェイアドレスの設定

Trapの設定は以下の手段により行うことができます。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
Windows 98/95/2000、Windows NT OS用のユーティリティソフトウェアから設定できます。
設定に関する詳細はCD-ROMに入っている「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」を参照してください。

WWWブラウザー
WWWブラウザーにより設定できます。
設定に関する詳細は「セットアップ　～WWWブラウザー編～」の「LANボードの管理者設定画面」(48ページ)を参照してください。

Telnet
Telnetにより設定できます。
設定に関する詳細は「セットアップ　～Telnet編～」の「SNMPの設定」(65ページ)を参照してください。

ゲートウェイアドレスの設定について

4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、プリンターのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。

同じネットワークアドレスのホストコンピューターにTrap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要ですので、「0.0.0.0」(工場出荷設定)のままでご使用ください。

SNMP MIB IIの[SNMP]グループで' snmpEnableAuthenTraps 'の設定がDisabled(2)になっているとすべてのTrap設定は無効となります。Trapをご使用の場合は、Enabled(1)[工場出荷時]に設定してください。

' SnmpEnableAuthenTraps 'の設定にかかわらず、プリンターに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。
Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。
Trap-PDUで通知される情報は次の通りです。

- プリンターCold Start発生情報
- プリンターWarm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

  Variable-bindings

  - hrPrinter Detected Error State
  - prtAlert Index
  - prtAlert Severity Level
  - prtAlert Group
  - prtAlert Group Index
  - prtAlert Location
  - prtAlert Code

情報の詳細はRFC1157、RFC1514およびRFC1759を参照してください。

故障かな？と思ったら

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこの章を参照してください。

すべてのOS共通

プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない

→ ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
コンフィグレーションページを印刷し、「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。

→ ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？
コンフィグレーションページを印刷し、「10BASE-T/100BASE-TX」の設定が接続されているハブの通信速度と一致しているか「Auto」になっていることを確認してください。

SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない

→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。

SNMPに応答がない

→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をプリンターに設定してください。

Windows NTをご使用の方へ

lprでプリントできない

→ IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。確認の方法として、pingコマンドを送信してください（7ページ参照）。

プリントを実行するとしばらくしてプリントマネージャに“プリンタエラー”と表示される

→ 他のジョブをプリントしている場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。

プリント中にキャンセルされる

→ プリントするページを少なくしてもう一度プリントしてみてください。プリントできた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。

lprで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある

→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムに問題がある可能性が考えられます。最新のサービスパックモジュールを適用すると共に、以下のMicrosoftのホームページを参照し、指定のレジストリを変更することをことをお勧めします。

http://www.asia.microsoft.com/japan/support/kb/articles/j043/7/00.htm
（2000.7.24現在）

UNIXシステム環境でご使用の方へ

IPアドレスが設定できない(pingコマンドが発行できない)

→ 異なるネットワークのIPアドレスを指定している場合があります。pingコマンドを発行するホストコンピューターのIPアドレスおよびサブネットマスクを確認してください。

→ 一度pingコマンドによりIPアドレスの設定が行われていませんか？

コンフィグレーションページを印刷して「Auto IP Address」が“ Off ”になっている場合は、プリンターの初期化を行い“ On ”(工場出荷設定)に戻してください。

ftpコマンド、lprコマンドでプリンターに接続(ログイン)できない

→ プリンター以外のホストに接続できますか？

接続できない場合は、システムの異常が考えられます。

→ IPアドレス等がプリンター側に登録されていない場合があります。登録を行ってください。

→ pingコマンドで接続できますか？
接続できない場合は、コンフィグレーションページを印刷し、IPアドレス、プリンター名を確認してください。

lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しくプリントされない

→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。

→ プリンターのコードに変換されていない場合があります。eucコードのフィルター設定を確認してください。

最後のページが排出されない

→ テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定するか、転送時に宛先ファイルとして「feed」を指定してください。